

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 結 果 等 報 告 書			
会議区分	○ 会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文 書 番 号	916
		決 裁 期 日	平成 22 年 3 月 26 日
名 称	平成 21 年度社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議		
日 時	平成 22 年 3 月 25 日 (木) 15 時～17 時 15 分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	出席委員 14 名 (本田・鷺見・藤木・高村・稲毛・安西・吉村・佐藤・大西・仲島・鎌田・芳賀・佐々木・渡辺) 教育長、社会教育班スタッフ (水谷・鈴木・狩野・林下・吉河・小野・田中)		
内 容	教育振興課 社会教育班主幹 進行		
	教育長挨拶 ：3/24 に議会が終了し、平成 22 年度にむけて取り進めるにあたり、予算額は前年度対比同額で推移しており、社会教育関係予算は 1 億 3500 万円 (比率 45%)。今後も社会教育中期計画に基づき進めていきたい。		
	既配布の教育行政執行方針に記載しましたが、放課後子どもプラン事業の拡充、3 年に 1 度の青少年国際交流事業を 8 月に実施。公民館暖房機更新やスキーリフト・B&G海洋センター修理、郷土館資料データ化を計画しています。また、清富多世代交流センターも利用 4 年目を迎え、今後の対応について検証したい。また、平成 23 年度以降に上小改築を目指したく実施設計等において、社会教育委員の立場からも意見を賜りたく宜しくお願いします。		
	社会教育委員長挨拶 ：今年度最後の会議となりますが三寒四温の繰返しにより、春遠いなか、委員皆さんにお集まりいただきお礼申し上げます。昨日の突風により農家への被害もあったのではないかと思います。本日は社会教育中期計画にかかる事業評価及び平成 21 年度事業評価と平成 22 年度予算・計画について全体協議としますので、皆さんからの活発なご意見をい		

ただきたく宜しく申し上げます。

議 題 ※事務局から、議事進行について説明

- 1 社会教育中期計画にかかる平成21年度社会教育事業の進捗状況と評価について・・・社会教育班スタッフ（第1部会～第3部会）説明
- 2 平成21年度社会教育事業にかかる評価（平成22年2月末現在）について・・・社会教育班主査説明

社会教育委員長：これまで部会に分かれて検証してきましたので、各部長さんからも発言をお願いします。

稲毛部会長（第1部会）：第1部会では、団体においては役員任期が一年毎に交代となるため、なかなか審議等を深めることができない課題がある。
次に学校支援地域本部事業と学社融合について、ボランティア活動によるものと謝金が支払われるものがあり、事業の内容等明確にしていきたい。
放課後子どもプラン事業は、管理運営体制を充実（指導者は公募）し、登録料については総事業費の1割程度の負担とするため、年額6,000円を12,000円に改正することについて検証。また各施設整備においても、利用に応じた課題への整備について意見がありました。

社会教育委員長：第1部会について、質疑ありませんか。

佐々木委員：成人式についてですが、今年のアトラクションで安政太鼓はとてもすばらしかったと参加者の保護者等から感想をいただいた。記念品の集合写真については、参加者も多く顔等が小さく見えづらいという意見があった。

社会教育委員長：今後の事業について、反省・評価を踏まえ、次年度の事業計画を立てていただくことで宜しいか。

委員：承認

社会教育委員長：次に第2部会をお願いします。

安西部会長（第2部会）：事務局からの説明以外に、特にはありません。

社会教育委員長：第1部会について、質疑ありませんか。

仲島委員：学校図書の蔵書データ化によるメリットはなにか。先ほどの説明では、学校間の図書が互いに貸出できると解釈してよいのか。

社会教育班主査：これまで手作業だった学校図書館運営について電算化となり、今後は学校間で蔵書検索が可能となるため貸借方法等について協議していきます。

社会教育委員長：今後、利用実績等の報告があるということで良いか。次に第3部会をお願いします。

芳賀部会長（第3部会）：表彰にかかるスポーツ賞等について、現在は団体推選となっているが、スポーツに親しんでいた方々が高齢になっていくため、功労賞等は多くの方が受賞できるよう検討してはいかがか。また子ども達が親子や世代間で参加できる事業の充実。クロスカントリー大会の中止については、新聞にも掲載されたが、積雪状況による会場準備や大会運営等にも課題がある。総合型スポーツクラブが平成21年4月に設立され、まだ参加者は少ないが次年度以降拡充願いたい。

仲島委員：総合型スポーツクラブの内容について説明願いたい。日の出スキー場の利用状況の把握について、今後どのように把握していくのか。

社会教育班主査：平成19年度から体育指導委員会、体育協会、教育委員会がいつでも・どこでも・だれもがスポーツに親しむ環境を整えるためにクラブ設立の設立にむけて準備し平成21年度4月に設立。現在会員26名。会費により事業運営し役員会で事業を決定。二年目に向けて会員募集していく。

社会教育班主幹：指定管理によりスキー場は運営しているため、利用状況等も合わせてロッジ等の重複利用による影響について確認していきたい。

社会教育委員長：第3部会について、質疑ありませんか。全体を通していかがですか。平成21年度事業報告と検証は2月末現在であり、次回の会議で総

括したく、委員の皆さんのご意見等をお願いします。

3 平成22年度社会教育事業計画（案）、会議及び委員の研修について・・社会教育班主幹・主査説明

社会教育委員長：事業計画及び社会教育関係団体の補助金について質疑ありませんか。

大西委員：次年度計画で委託事業を計画するにあたり、これまで会場使用料について積算根拠に入っていなかったが、申請にあたり事務指導を受けた。対象が子どもであり読書と文化活動の普及の場合は、当初から無料とならないのか。

社会教育班主幹：委託事業の申請にあたり、事業積算に会場使用料も対象であり、自主的な団体活動としての事業費として、かかる費用については全て積算するよう指導している。

教育長：町民の活動に対して、委託事業、補助事業等様々な支援体制があります。マイプラン・マイスタディ講座は資金支援が限られるため、会場使用料を免除する等対応しています。どのような活動を展開していくのか、目的に向かった活動の継続をお願いしたい。

今年8月に実施する青少年国際交流事業募集について、ホームステイ先の受入の登録調整もあり、締切を**4/23**としたい。実行委員会にも諮っていくが**4/9～23**募集期間が短いため、ぜひ委員から対象となる中・高校生に声をかけていただきたい。

社会教育委員長：皆さん、質疑ありませんか。

委員：ありません。承認

社会教育委員長：委員の皆さん、ありがとうございます。この度の教職員異動により、鷲見副委員長が旭川市の中学校に転出されることになりましたのでご挨拶をお願いします。

鷲見委員：社会教育委員として広い視野でみることを求められてきましたが、なかなか町の事業に参加することができませんでした。先日も雪合戦大会に2チームが入賞したという報告をうけ、生徒たちが様々な社会教育活動に参加していることを、大変嬉しく思います。

上富良野町はロマンがあり可能性について探求し、伸び伸びと成長させていただける地域だと思います。ぜひ次世代の子ども達を育てていただきたい。

4 その他 次回会議の予定について・・社会教育班主査説明

社会教育委員長：次回会議の日程は5月下旬ということで、5/24（月）の15時～17時の時間でよろしいですか。

各委員：承認

社会教育委員長：みなさんお疲れ様でした。今回は、新委員さんを迎えての会議開催となります。会議終了後懇談会も予定したく、皆様のご出席をお願いいたします。

委員：ご苦労さまでした。

（終了）